

市町村	<ul style="list-style-type: none"> <li>・災害医療コーディネーターとの連絡確認等、各医療チームの受援体制の強化</li> <li>・被災者への保健指導等、健康管理活動班等の活動体制の強化</li> <li>・重症心身障がい児者や医療的ケア児者の個別避難計画の作成</li> </ul>
県	<ul style="list-style-type: none"> <li>・県DMAT調整本部、災害医療コーディネート機能体制等、各保健医療福祉活動チームの活動調整機能体制の構築、強化</li> <li>・各保健医療福祉活動チームの活動体制の強化</li> <li>・DMATやDPAT、災害医療コーディネーター（災害時小児周産期リエゾンを含む。）、ロジスティクスを行う人材、その他災害医療従事者の育成支援</li> <li>・医薬品等の供給体制、透析患者や難病者に対する災害時医療提供体制の強化</li> </ul>
保健所	<ul style="list-style-type: none"> <li>・医療圏内における災害医療コーディネート機能体制等、各保健医療福祉活動チームの活動調整機能体制の構築、強化</li> <li>・医療圏内における各保健医療福祉活動チームの活動体制の強化</li> </ul>

### 【数値目標】

目標項目		現状値 (R5(2023))	目標値 (R11(2029))	重点施策 関連
全ての建物に耐震性のある病院の割合		78.3%	83.7%	
いわて災害医療支援ネットワークの連携体制等の確認を行う会議等の実施回数		—	1回/年	○
県と関連機関が連携した訓練の実施回数及び圏域の関連機関が災害時における連携体制の確認を行う訓練・会議等の実施回数	県全体	1回/年	1回/年	○
	各保健医療圏	1回/年	1回/年	○
災害時のコーディネート機能を強化するための会議等の実施回数	災害医療コーディネーター	—	1回/年	○
	災害時小児周産期リエゾン	—	1回/年	○